



平成27年5月15日

各 位

会 社 名 昭和ホールディングス株式会社  
代表者名 代表執行役社長 重田 衛  
(コード番号 5103 東証第二部)  
問合せ先 執行役財務総務担当 庄司 友彦  
(TEL. 04-7131-0181)

## 個別業績の前年実績値との差異に関するお知らせ

当社は、個別業績予想につきまして重要性の観点から公表を行っておりませんが、平成27年3月期の個別業績値と前期実績値の差異が開示基準に抵触いたしましたので、以下の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成27年3月期個別業績と前期実績との差異 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

|          | 売上高    | 経常利益    | 当期純利益  | 1株当たり<br>当期純利益 |
|----------|--------|---------|--------|----------------|
| 前期実績(A)  | 264百万円 | 851百万円  | 98百万円  | 2.12円          |
| 当期実績(B)  | 303百万円 | 36百万円   | 60百万円  | 1.28円          |
| 増減額(B-A) | 39百万円  | ▲814百万円 | ▲38百万円 | —              |
| 増減率 (%)  | 15.0%  | ▲95.7%  | ▲38.8% | —              |

#### 2. 前期実績との差異理由

平成27年3月期の実績につきましては、売上高は15.0%増加し303百万円となりました。これは業績の良好な事業部門からの手数料収入が増加したこと等によるものであります。

経常利益につきましては、増収に伴う増益の要素もありましたが、昨年実績には当社100%連結子会社の株式会社ルーセントとショーワスポーツ株式会社の合併により、存続会社である株式会社ルーセントの財政状況が改善の為、貸倒引当金戻入益378百万円、投資損失引当金戻入益502百万円という平常時には発生しない多額の営業外収益の発生が含まれており、当期はこのような営業外収益は発生いたしませんので、前期と比較しますと814百万円の減益となり、36百万円となりました。

また、当期純利益につきましても、前期は上記の多額の営業外収益に加え、特別損失で関係会社株式評価損失750百万円が発生することとなりましたので、当期は前述の営業外収益も特別損失も発生はいたしませんので、前期との比較となりますと38百万円の減益の60百万円となりました。

尚、上記記載の貸倒引当金戻入益、及び投資損失引当金戻入益、並びに関係会社株式評価損につきましては、

連結の業績に与える影響があるものではございませんでした。詳細につきましては、当社が平成26年5月15日に当社が公表いたしました「【営業外収益】貸倒引当金戻入額の発生、及び【営業外収益】投資損失引当金戻入額の発生、並びに【特別損失】関係会社株式評価損の発生に関するお知らせ」及び「平成26年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」をご確認ください。

以上